



今井宏毅 議員

本町における6次産業化の推移は。

町長 総合化事業計画等県農業普及課と連携、サポート推進を図る。

本町における6次産業化の推移、昨年10月までは国直轄、11月からは県が主体。各市町村が窓口であるが事業所や農家から相談はないか、あった場合今後の対応は。

町長 現在6次産業化の認定を受けている団体はいませんが、今年度中に認定を目指し準備中が1件。農家からはありませんが、大きくは3団体からの相談があり、前記の団体を含め基本的には当該団体と県サポートセンターとの直接のやりとりであり現在準備中。他の1団体は要望する資料等を県農業普及課と町で対応。もう1団体は本町において開催された個別相談会の案内を行い、県サポートセンターと今後について協議を行



つた。今後資料等のサポートを県と連携し、推進に努める。

①町民全体に現在の状況について説明があったのか。

町長 これまででも一般質問等で質問を受け説明、議会などにより町民への周知をしているが、ある程度財源

手当て等根本的な課題に目途が立った段階で考えている。
②硬度の高い地区に対し何らかの施策は。

町長 昨年上城第2水源地の施設工事が終了し取水地出来る様になり現在上城配水池から田皆地区へ応援給水を行っており、結果硬度は他地区と同等レベルまで低下したが今後石灰対策として配水管の敷設替・ドレイン弁からの定期的な吐き出し、別ルートからの補水の検討を行っている。

基幹作物砂糖キビ単収増計画
私は他の町村がキビの高単収を目指し実証実験している堆肥を使用しキビを30a植付け実験しているが、他の町での取り組みや私の圃場で高単収収穫がされた場合手続きを踏んで補助対象に出来ないか。

町長 地域全体の支援はさとうきび生産対策本部を中心に、個々の農家については取組内容を関係機関で検討し、支援できるものは役割分担等をして進めて参る。

地下ダム完成引き渡し後の沖縄県糸満市で水耕栽培によるトマト栽培がされているが、無農薬で水耕栽培野菜栽培農家育成の計画はないか。

町長 無農薬野菜は近年注目されつつあるが、栽培技術や流通等が確立されていない面もある。農家育成については、状況や規模、賛同されている農家の皆さんの意向も聞きながら関係機関の協力を得て個別に対応したい。

児童生徒の通学路の安心安全対策
県道知名ノ国頭線田皆字内道路については平成14年から字民一丸となつて要望してきたが未だに280mの整備が止まっており、残り約1kmの整備計画は。

町長 県の道路事業実施に対する優先度評価の考え方に変更がなく厳しい状況にある。しかしながら正名・田皆地区とも通学路となつており安全な歩行空間確保は喫緊の課題。引き続き早期着手を要望する。併せて今年度から実施している「通学路安全プログラム」の点

検査結果に基づきそれぞれの担当部署で実施可能な安全対策を検討し、通学時の安全確保を図る。



田皆小学校のグラウンドの芝生とトラックとの段差が約20cmもあり危険である。修復の計画は。

町長 現在のままでは体育の事業、休み時間の運動、スポーツ少年団活動等子供たちの安全確保に支障を来すので改善策を考えている。また、現在建て替え計画中の田皆中学校新体育館の建設位置が田皆小グラウンドの一部掛かる事が予想されており新体育館の工事完成に合わせてグラウンド全体をどの様な形で整備するのか検討する。